T&D保険グループ

平成２３年１１月１７日

各　位

株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス
（コード番号 8795　東証・大証第一部）
太陽生命保険株式会社
大同生命保険株式会社
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社

平成２４年３月期第２四半期（中間）決算のお知らせ

Ｔ＆Ｄ保険グループ（Ｔ＆Ｄホールディングス、太陽生命、大同生命、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命）の平成２４年３月期第２四半期（平成２３年４月１日～平成２３年９月３０日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社３社合算：個人保険・個人年金保険）

○**新契約高**は、３兆６１２億円、前年同期から８．１％の減少、
○**解約失効高**は、２兆１，５５７億円、前年同期から７．０％の減少、
○**保有契約高**は、５８兆６０６億円、前年度末からほぼ横ばいとなりました。

損益関係（Ｔ＆Ｄホールディングス連結）

○**経常収益**は、１兆７３８億円、前年同期から０．５％の減少、
　うち**保険料等収入**は、７，３７７億円、前年同期から１．０％の増加となりました。
○**経常利益**は、７０５億円、前年同期から１０．５％の増加となりました。
○**中間純利益**は、２８７億円、前年同期から２９．１％の増加となりました。

通期業績予想（Ｔ＆Ｄホールディングス連結）

○**通期業績予想**の修正はありません。

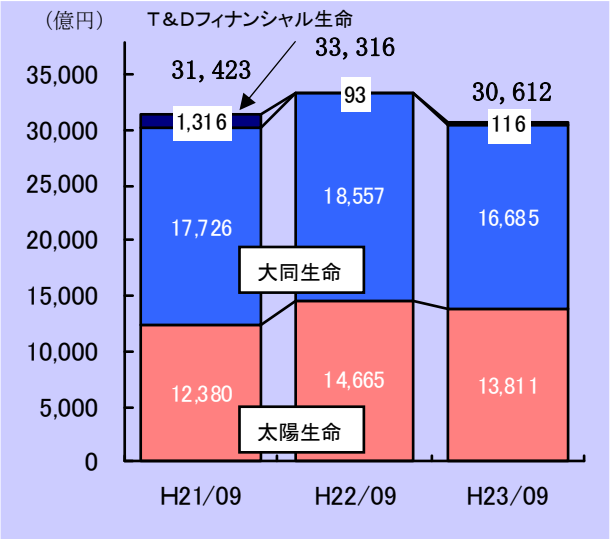
以　上

【お問合せ先】

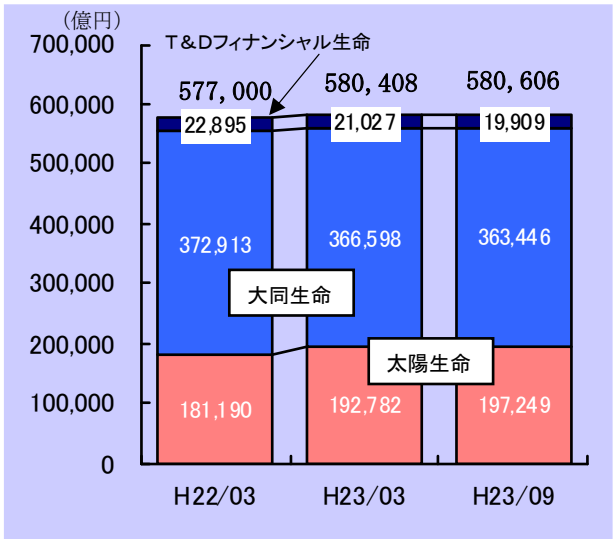
株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス　広報部　松尾　TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社　広報課　家徳　TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社　広報課　前田　TEL 03-3434-9190
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社　広報課　進藤　TEL 03-3434-8840

［契約業績（個人保険・個人年金保険）］

○新契約高の推移（３社単純合算）



○保有契約高の推移（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比
新契約高	30,612	2,703 減 (8.1%減)	13,811	854 減 (5.8%減)	16,685	1,871 減 (10.1%減)	116	22 増 (23.6%増)
解約失効高	21,557	1,619 減 (7.0%減)	5,936	404 増 (7.3%増)	15,211	1,905 減 (11.1%減)	410	118 減 (22.5%減)
（解約失効率）			(3.08%)	(0.03ポイント上昇)	(4.15%)	(0.44ポイント低下)	(1.95%)	(0.36ポイント低下)
新契約年換算保険料	516	21 減 (3.9%減)	209	14 増 (7.2%増)	300	35 減 (10.4%減)	6	0 増 (0.3%増)
うち医療保障・生前給付保障等	67	18 増 (37.9%増)	33	3 減 (8.6%減)	34	21 増 (174.4%増)	0	0 増 (－)

（注）１．新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
２．解約失効率は、年換算しておりません。

（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期末	前年度末 比較増減	当第２四半期末	前年度末 比較増減	当第２四半期末	前年度末 比較増減	当第２四半期末	前年度末 比較増減
保有契約高	580,606	198 増 (0.0%増)	197,249	4,467 増 (2.3%増)	363,446	3,151 減 (0.9%減)	19,909	1,117 減 (5.3%減)
保有契約年換算保険料	13,851	121 減 (0.9%減)	5,906	47 減 (0.8%減)	6,213	41 減 (0.7%減)	1,731	32 減 (1.8%減)
うち医療保障・生前給付保障等	1,618	7 減 (0.5%減)	1,066	16 減 (1.5%減)	508	10 増 (2.1%増)	43	1 減 (4.4%減)

■　３社単純合算

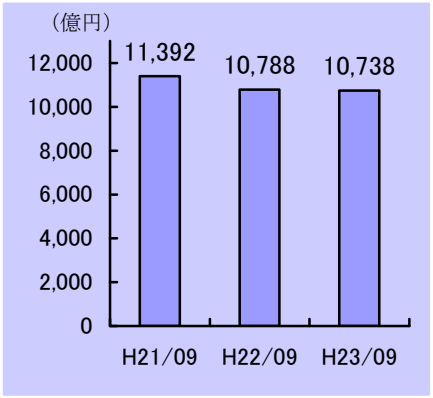
・**新契約高**は、３兆６１２億円、前年同期から８．１％の減少。
これは主に、太陽生命と大同生命で減少したため。
・**解約失効高**は、２兆１，５５７億円、前年同期から７．０％の減少。
これは主に、大同生命で減少したため。
・**保有契約高**は、前年度末からほぼ横ばいの５８兆６０６億円。

■　各社の状況

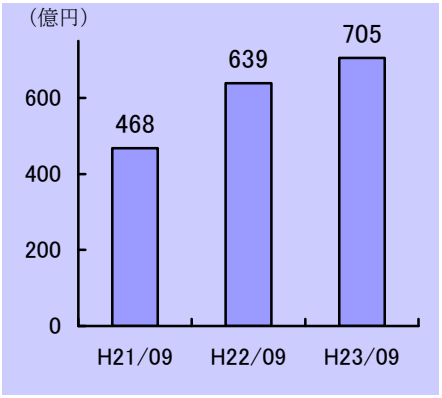
・**太陽生命の新契約高**は、１兆３，８１１億円、前年同期から５．８％の減少。
なお、第１四半期（４～６月）の新契約高は前年同期から８．１％の減少であったが、第２四半期（７～９月）は同０．２％の減少とほぼ前年並みとなっている。
・**大同生命の新契約高**は、１兆６，６８５億円、前年同期から１０．１％の減少。
なお、主力の個人定期保険の新契約高に、主力商品の一つとして昨年１０月に発売した「無配当重大疾病保障保険（Ｊタイプ）」の重大疾病保険金額を加算した金額でみた場合、１兆７，３１８億円、前年同期から２．９％の減少。
※「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高には計上していません。
・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の新契約高**は、１１６億円、前年同期から２３．６％の増加。

［損益関係］

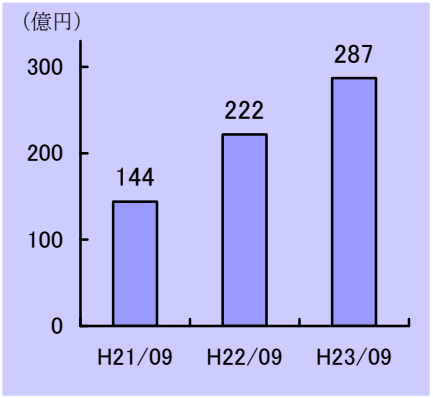
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○中間純利益（連結）



（単位：億円）

	Ｔ＆Ｄホールディングス連結		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比
経常収益	10,738	50 減 (0.5%減)	4,659	75 減 (1.6%減)	5,116	9 増 (0.2%増)	871	45 増 (5.5%増)
うち保険料等収入	7,377	75 増 (1.0%増)	3,593	72 増 (2.1%増)	3,589	9 減 (0.3%減)	190	10 増 (5.9%増)
うち資産運用収益	1,702	21 減 (1.3%減)	866	25 増 (3.0%増)	709	9 減 (1.3%減)	158	26 減 (14.5%減)
うちその他経常収益	1,658	104 減 (5.9%減)	199	174 減 (46.5%減)	817	28 増 (3.6%増)	521	61 増 (13.3%増)
経常費用	10,032	117 減 (1.2%減)	4,314	115 減 (2.6%減)	4,696	64 減 (1.4%減)	940	87 増 (10.3%増)
うち保険金等支払金	7,852	127 減 (1.6%減)	3,533	148 減 (4.0%減)	3,816	50 減 (1.3%減)	501	70 増 (16.3%増)
うち資産運用費用	817	6 増 (0.8%増)	168	19 増 (13.4%増)	278	25 減 (8.3%減)	394	26 増 (7.2%増)
経常利益（△損失）	705	66 増 (10.5%増)	345	40 増 (13.1%増)	420	73 増 (21.3%増)	△69	42 減 (157.6%増)
特別利益	0	6 減 (93.0%減)	－	0 減 (100.0%減)	0	1 減 (92.3%減)	－	0 減 (100.0%減)
特別損失	138	2 減 (2.0%減)	73	2 増 (3.9%増)	60	2 減 (4.6%減)	2	2 増 (977.1%増)
契約者配当準備金繰入額（△戻入額）	146	10 増 (8.0%増)	79	6 増 (9.4%増)	66	3 増 (6.3%増)	△0	0 減 (3.0%増)
税引前中間純利益（△損失）	421	52 増 (14.1%増)	191	29 増 (18.2%増)	292	70 増 (32.0%増)	△72	45 減 (166.0%増)
法人税等合計	133	12 減 (8.8%減)	46	0 減 (1.3%減)	102	3 増 (3.6%増)	△21	14 減 (204.6%増)
中間純利益（△損失）	287	64 増 (29.1%増)	144	30 増 (26.3%増)	190	67 増 (54.9%増)	△50	30 減 (152.4%増)
（参考）								
資産運用関係収支（一般勘定）	1,285	16 減 (1.3%減)	697	2 増 (0.4%増)	443	7 増 (1.7%増)	152	29 減 (16.3%減)

（注）１．Ｔ＆Ｄホールディングス連結の数値については、生命保険会社３社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
２．保険料等収入の３社単純合算は7,373億円（前年同期比1.0%増）です。
３．資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■　Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・**経常収益**は、１兆７３８億円、前年同期から５０億円の減少。
・**経常利益**は、７０５億円、前年同期から６６億円の増加。
　これは主に、東日本大震災に係る支払見積額が減少したこと、および利息及び配当金等収入が増加したため。
・**中間純利益**は、２８７億円、前年同期から６４億円の増加。

■　太陽生命の状況

・**経常収益**は、４，６５９億円、前年同期から１．６％の減少。
・**保険料等収入**は、３，５９３億円、前年同期から２．１％の増加。
　これは主に、個人保険・個人年金保険の収入保険料が増加したため。
・**経常利益**は、３４５億円、前年同期から１３．１％の増加。
　これは主に、利息及び配当金等収入が増加したこと、および東日本大震災に係る支払見積額が減少したため。
・**中間純利益**は、１４４億円、前年同期から２６．３％の増加。
　なお、価格変動準備金に７０億円の繰入を実施（うち６０億円は超過繰入）。

■　大同生命の状況

・**経常収益**は、５，１１６億円、前年同期から０．２％の増加。
・**保険料等収入**は、３，５８９億円、前年同期から０．３％の減少。
　これは主に、個人保険の収入保険料は増加したものの、団体年金保険で減少したため。
・**経常利益**は、４２０億円と前年同期から２１．３％の増加。
　これは主に、東日本大震災に係る支払見積額が減少したこと、および利息及び配当金等収入が増加したため。
・**中間純利益**は、１９０億円、前年同期から５４．９％の増加。
　なお、価格変動準備金に５４億円の繰入を実施（うち４５億円は超過繰入）。

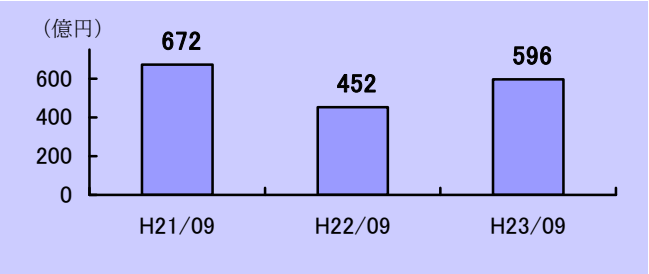
■　Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の状況

・**経常収益**は、８７１億円、前年同期から５．５％の増加。
・**保険料等収入**は、１９０億円、前年同期から５．９％の増加。
・**経常利益（△損失）**は、△６９億円、前年同期から１５７．６％の悪化。
　これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が増加したことや、変額個人年金保険の最低保証リスクに係るヘッジ益（金銭の信託運用益）が減少したため。
・**中間純利益（△損失）**は、△５０億円、前年同期から１５２．４％の悪化。

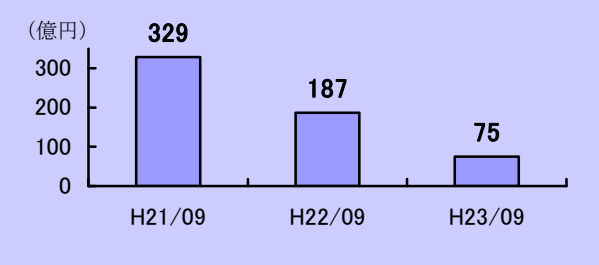
［その他の指標等］

＜基礎利益と逆ざや＞

○基礎利益（３社単純合算）



○逆ざや額（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比
基礎利益	596	144 増 (31.8%増)	301	64 増 (27.0%増)	451	92 増 (25.9%増)	△156	13 減 (9.1%増)
逆ざや額	75	112 減	28	39 減	32	71 減	14	1 減

■　３社単純合算

・**基礎利益**は、５９６億円、前年同期から１４４億円の増加。
これは主に、太陽生命と大同生命で増加したため。

■　各社の状況

・**太陽生命の基礎利益**は、３０１億円、前年同期から６４億円の増加。
逆ざや額は、２８億円、前年同期から３９億円の改善。
これは主に、利息及び配当金等収入の増加などの基礎利益上の運用収支が増加したこと、および予定利息負担が減少したため。

・**大同生命の基礎利益**は、４５１億円、前年同期から９２億円の増加。
逆ざや額は、３２億円、前年同期から７１億円の改善。
これは主に、利息及び配当金等収入の増加などの基礎利益上の運用収支が増加したこと、および予定利息負担が減少したため。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の基礎利益**は、△１５６億円、前年同期から１３億円の悪化。
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が増加したため。
逆ざや額は、１４億円と前年同期並み。

＜ソルベンシー・マージン比率＞

	太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期末	前年度末 比較増減	当第２四半期末	前年度末 比較増減	当第２四半期末	前年度末 比較増減
ソルベンシー・マージン比率	1,243.0%	13.3ポイント上昇	1,303.3%	66.1ポイント上昇	571.5%	39.7ポイント低下
(参考)新基準による ソルベンシー・マージン比率※	702.6%	31.8ポイント上昇	783.9%	63.3ポイント上昇	512.5%	58.6ポイント低下

※平成24年3月期より導入される新基準に基づくソルベンシー・マージン比率

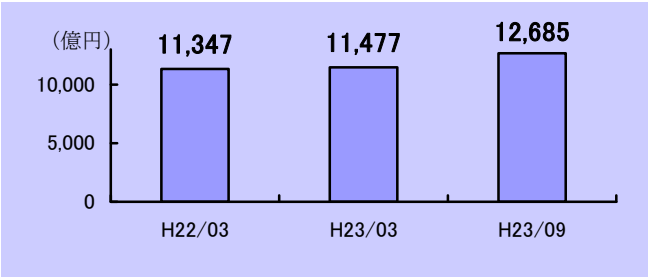
■　各社の状況

・**太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、１，２４３．０％、前年度末から１３．３ポイント上昇。
これは主に、中間純利益・価格変動準備金の積み上げによる広義自己資本が増加するとともに、その他有価証券評価差額が増加したため。

・**大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、１，３０３．３％、前年度末から６６．１ポイント上昇。
これは主に、中間純利益・価格変動準備金の積み上げによる広義自己資本が増加するとともに、リスク削減に伴う国内外株式残高の減少等により資産運用リスクが減少したため。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、５７１．５％、前年度末から３９．７ポイント低下。
これは主に、相場変動によりソルベンシー・マージン総額が減少したため。

＜実質純資産（３社単純合算）＞



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第２四半期末	前年度末比較増減	当第２四半期末	前年度末比較増減	当第２四半期末	前年度末比較増減	当第２四半期末	前年度末比較増減
実質純資産	12,685	1,207 増	5,572	1,035 増	6,189	154 増	924	17 増

■　３社単純合計

・**実質純資産**は、１兆２，６８５億円と、前年度末から１，２０７億円の増加。
これは主に、中間純利益・価格変動準備金の積み上げ、および有価証券の差損益の増加による。

■　各社の状況

・**太陽生命の実質純資産**は、５，５７２億円、前年度末から１，０３５億円の増加。
これは主に、中間純利益・価格変動準備金の積み上げ、および有価証券の差損益の増加による。

・**大同生命の実質純資産**は、６，１８９億円、前年度末から１５４億円の増加。
これは主に、中間純利益・価格変動準備金の積み上げによる。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の実質純資産**は、９２４億円、前年度末から１７億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益の増加による。

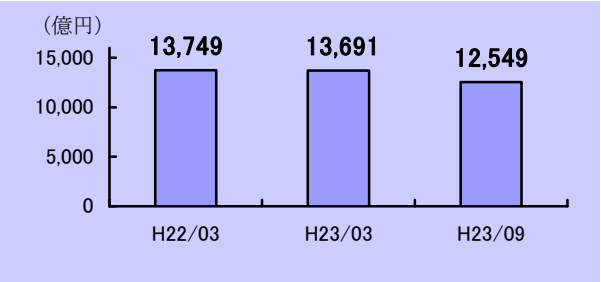
＜有価証券差損益（一般勘定）＞

（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第２四半期末	前年度末比較増減	当第２四半期末	前年度末比較増減	当第２四半期末	前年度末比較増減	当第２四半期末	前年度末比較増減
有価証券差損益(一般勘定)	3,226	1,078 増	2,312	954 増	805	66 増	108	57 増
うち公社債	2,331	1,229 増	1,404	794 増	819	376 増	107	58 増
うち株式	660	559 減	444	433 減	215	125 減	－	－
うち外国証券	322	507 増	397	573 増	△74	66 減	－	－
うちその他の証券	△229	155 減	△1	4 減	△228	149 減	0	0 減
うち金銭の信託	△7	5 減	－	－	△7	5 減	－	－
うち買入金銭債権	149	62 増	66	24 増	82	37 増	－	－
土地等の差損益	199	6 増	21	4 増	177	1 増	－	－

（注）１．有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
２．土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

＜ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー（ＥＥＶ）＞



（単位：億円）

	Ｔ＆Ｄ保険グループ		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第２四半期末	前年度末比較増減	当第２四半期末	前年度末比較増減	当第２四半期末	前年度末比較増減	当第２四半期末	前年度末比較増減
ＥＥＶ	12,549	1,141 減	4,837	68 減	7,114	936 減	598	136 減
修正純資産	9,499	885 増	4,445	703 増	4,444	170 増	609	11 増
既契約の将来価値	3,050	2,026 減	391	772 減	2,669	1,106 減	△10	147 減

	Ｔ＆Ｄ保険グループ		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比	当第２四半期累計	前年同期比
新契約価値	230	21 増	104	16 減	135	38 増	△9	1 減

■　**Ｔ＆Ｄ保険グループ**

・**ＥＥＶ**は、１兆２，５４９億円と、前年度末から１，１４１億円の減少。
これは主に、金利が前年度末より低下したこと等により既契約の将来価値が減少したため。

■　各社の状況

・**太陽生命のＥＥＶ**は、４，８３７億円、前年度末から６８億円の減少。
・**大同生命のＥＥＶ**は、７，１１４億円、前年度末から９３６億円の減少。
・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命のＥＥＶ**は、５９８億円、前年度末から１３６億円の減少。

※）詳しくは、「平成 23 年 9 月末ヨーロピアン・エンベディッド・バリューの開示について」をご参照ください。

［平成２４年３月期通期業績予想］

平成２３年５月１９日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。
参考として、同日公表の業績予想を再掲いたします。

○Ｔ＆Ｄホールディングス連結

（単位：億円）

	平成２３年３月期実績	平成２４年３月期予想	増減
経常収益	19,930	19,500	430 減 (2.2%減)
経常利益	949	1,130	180 増 (19.0%増)
当期純利益	238	360	121 増 (50.8%増)

1株当たり年間配当金予想は22円50銭です。（平成23年10月1日付けで当社普通株式1株を2株に分割したことに伴い、配当予想金額は45円から2分の1である22円50銭としています。）

なお、上記の前提となる生命保険会社３社（単体）の平成２４年３月期の通期業績予想は次のとおりです。

（単位：億円）

	太陽生命	大同生命	Ｔ&Ｄフィナンシャル生命
経常収益	8,900 (297 減) (3.2%減)	9,100 (526 減) (5.5%減)	1,300 (236 増) (22.2%増)
経常利益（△損失）	570 (71 増) (14.4%増)	540 (51 増) (10.6%増)	△90 (19 減) (27.4%増)
当期純利益（△損失）	160 (34 増) (27.2%増)	200 (39 増) (24.5%増)	△70 (6 減) (10.6%増)

（注）括弧内は平成２３年３月期からの増減額・率です。

当中間期の業績を踏まえ、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命において業績予想の変更を行っております。

経常収益：2,700億円→1,300億円、経常利益：0億円→△90億円、当期純利益：△0億円→△70億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以　上

（参考）生命保険会社３社の平成２４年３月期通期見通し

（単位：億円）

	３社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,090 (12 増) (1.1%増)	550 (45 増) (9.1%増)	670 (48 増) (7.8%増)	△130 (81 減) (169.5%増)
保険料等収入	14,900 (162 増) (1.1%増)	7,200 (20 増) (0.3%増)	7,100 (71 減) (1.0%減)	600 (213 増) (55.4%増)
逆ざや額	140 (153 減) (52.3%減)	40 (30 減) (43.0%減)	70 (121 減) (63.4%減)	30 (2 減) (6.5%減)
新契約高	66,500 (3,017 増) (4.8%増)	29,500 (1,367 増) (4.9%増)	36,500 (1,367 増) (3.9%増)	500 (282 増) (130.2%増)
保有契約高	583,800 (3,391 増) (0.6%増)	203,100 (10,317 増) (5.4%増)	361,300 (5,298 減) (1.4%減)	19,400 (1,627 減) (7.7%減)
解約失効率（%）		6.3 (－)	8.9 (0.1 ポイント上昇)	3.7 (0.7 ポイント低下)

（注）１.括弧内は平成２３年３月期からの増減額・率です。
２.新契約高、保有契約高、および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

当中間期の業績を踏まえ、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命において見通しの変更を行っております。
基礎利益：130 億円→△130 億円、保険料等収入：2,400 億円→600 億円、逆ざや額：20 億円→30 億円、
新契約高：2,300 億円→500 億円、保有契約高：21,300 億円→19,400 億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以上